

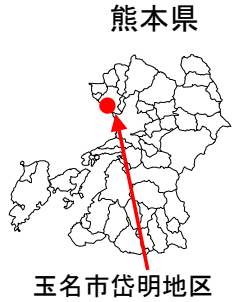
地域農業の在り方等を踏まえた市町村支援計画等の概要

【地区の概要】

- 水稻や野菜等の園芸作物が盛んな平地農業地域
- 土地利用型農業者の高齢化や後継者不足が進行しており、担い手の育成・確保が急務

【支援内容・背景】

- 地区内の土地利用型農業者の経営安定や所得向上を図るため、水稻に係る作業の省力化と高収益作物などの作付拡大を支援する必要。
- 助成対象者(K氏)は地区内で水田作経営を営む者であり、地域計画(当時は人・農地プラン)の中心経営体に位置付けられ、地区の担い手として活躍を期待。また、水稻の輸出等に向け作付拡大を志向していることから、稲作経営の発展モデルとして育成・支援。



助成対象者「K氏」の経営の状況と事業内容

【経営の経緯】

- 平成12年 就農(自営業から転身)
- 平成12年 経営改善計画の認定
- 令和 2年 本事業の活用による高性能機械の導入により、受託面積が増加、JAを通じ、同地区の農事組合法人等とシンガポールへ主食用米の輸出開始

《事業活用の背景》

○ 水稻の輸出や経営規模を拡大することにより、農業経営の発展・安定化を図るため、稲作の耕起、収穫作業等の効率化に資する高性能機械を導入。

【事業実施時の状況】
〈R元年度〉

○収入総額	54百万円
○経営面積	17.1ha
○輸出米	— t

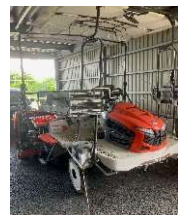
《事業による整備内容》

- 田植機 1台
- 乾燥機 1台
- フォークリフト 1台
- アッパーロータリー 1台
- 播種機 1台

事業費 10,300千円
(国費 4,680千円)

【現在の経営状況】
〈R5年度〉

○収入総額	89百万円 (164%)
○経営面積	46.0ha (269%)
○輸出米	2.7t (皆増)



事業の
効果

《対象者》 高性能機械導入による作業効率の向上により、経営面積と収入が拡大。

《地 区》 助成対象者が先進的に輸出を実践したことにより、地区内農家の輸出取組に寄与。

【地区内の輸出取組者1名(R元年度)→4名(R5年度現在)】